

## 新規実施検査項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。

敬具

記

### ■ 受託開始日

平成 30 年 10 月 1 日 (月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容

項目コード	検査項目	検体量	保存	所要日数	実施料	検査方法	基準値	備考
8631	RAS・BRAF 遺伝子変異解析	未染標本スライド 5枚	室温	4~7日	4000点 D004-2 「1」悪性腫瘍組織検査 包括2項目	PCR-r SSO法	なし	<p>病理材料でRAS及びBRAF遺伝子(KRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともにexon2 codon12,13、exon3 codon59,61、exon4 codon117,146を、BRAF遺伝子(exon15codon 600)の変異解析を目的としております。病理材料以外は受託できません。</p> <p>●未染標本スライド材料について ご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5~10μmにて連続切片を作製ください。作製したスライドは、オブジェクトケースに入れ、室温保存にて速やかにご提出ください。また、未染標本スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを事前に確認のうえ、ご提出をお願いします。</p> <p>また、病理検査材料は、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては解析不可能となる場合がありますので、予めご了承ください。他項目との重複依頼は避けてください。</p>

外注先 SRL

#### ●留意事項

本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合の保険請求上の名称は、「BRAF遺伝子検査」および「RAS遺伝子検査」で、悪性腫瘍遺伝子検査(2項目)の所定点数となります。